

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月13日 更新

事務事業名		疾病分類抽出事業				マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部		課長名	末永 大樹		
	施 策	5 健康づくりの推進				所属課	健康ほけん課		担当者名	毛利 一生		
	施策の柱	22 保険医療制度の健全な運営				所属班	保険年金班		(内線)	1186		
予算科目		会計 国保	款 6	項 1	目 1	事業連番 10384	根拠 法令	国民健康保険法				
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度)					
										<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・疾病を分類(国保連合会委託)し市民の疾病傾向を把握し、長期的な医療費削減対策や補助金申請に使用する。 ・昭和33年に調整交付金制度が発足し国民健康保険法に設けられた制度。 ・平成20年度より後期高齢者医療制度が発足したため、75歳以上が対象から外れた。
【業務の流れ】	①診療月ごとの疾病分類、②結核・精神の病類を抽出し診療月ごとのリストを作成、③リスト1件ごとに対象レセプトを確認、④対象となるものだけを特別調整交付金として申請
【主な予算費目】	08保健事業費 01保健衛生普及費 13業務委託
【意見や要望】	結果として交付金として市に国、県から交付があるので当然これからも必要である。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 国保連合会に対象疾病データ作成を委託した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 診療報酬明細書数	枚		
→ イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 国民健康保険特別会計		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
		→ ア 疾病分類業務等委託料	千円
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 特別調整交付金の額を適正に算定する。		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
		→ ア 結核・精神病にかかる特別調整交付金の金額	千円
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 国の特別調整交付金の額が成果となるため。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	枚	205,538	135,510	213,000	197,413	213,000	213,000	213,000	213,000
	イ									
② 対象指標	ア	千円	1,357	1,342	2,400	1,331	2,400	2,400	2,400	2,400
	イ									
③ 成果指標	ア	千円	79,909	73,295	70,000	71,053	70,000	70,000	70,000	70,000
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	2,237	2,214	2,400	2,200	2,400	2,400	2,400
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	2,237	2,214	2,400	2,200	2,400	2,400	2,400
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち臨時職員	千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	3	2	2	3	2	2	2
		延べ業務時間	時間	320	310	200	300	200	200	200
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	1,251	1,179	796	1,092	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,488	3,393	3,196	3,292	2,400	2,400	2,400

事務事業名	疾病分類抽出事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康ほけん課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 前年度並みのため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現状維持が大事。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 嘱託職員をフルに活用している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う範囲であるため、移行できない。

3 評価結果の総括（CHECK）

この事業の実施により適正な特別調整交付金の算定ができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<div>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</div> <div><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</div>		<div>(2) 改革・改善による期待成果</div> <div>(廃止・休止の場合は記入不要)</div> <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
<div>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</div>																								